

発行:医療法人社団 神鋼会 神鋼病院
〒651-0072 神戸市中央区臨浜町1丁目4-47 電話:078-261-6711(代表) FAX:078-261-6726
発行責任者:病院長 山本正之 編集責任者:神鋼病院広報委員会 委員長 山神和彦

神鋼病院救急センター EMERGENCY MEDICAL CENTER

ご挨拶

院長 山本 正之

地域医療において救急医療は最重要対象であります。しかし、実際に一民間病院でどのように地域の状況に対応して救急医療に携わっていくべきかについては明確なガイドラインはありません。神鋼病院は神戸市の2次救急輪番病院として、指定される当番曜日に救急医療に参画しております。しかし、最近では非当番日でも救急車の到着件数は当番日と変わらないような状態が続いております。救急医療を受けざるをえない患者さんにどのように安心、満足できる医療を提供できるか、院長の悩みはどここの病院でも違いはありません。救急車からの診察依頼を受けたときには、とにかく、「断らない」。対応時における医療設備、医療人の能力に見合った「適切なトリアージ」。誰でも言えることですが、その実行には幾多の障害があることは医療人であれば承知のこと。要するに、そのような自覚をもって、救急科を運営できる専属の医師が存在するかどうかにかかっています。このたび、上原徹也先生を救急科科長としてお迎えすることができました。上原先生の忍耐力、実行力で少しずつでも地域の中の神鋼救急を造り上げて行きたいと思っております。

救急センター長 上原 徹也

■責任ある救急指定病院として

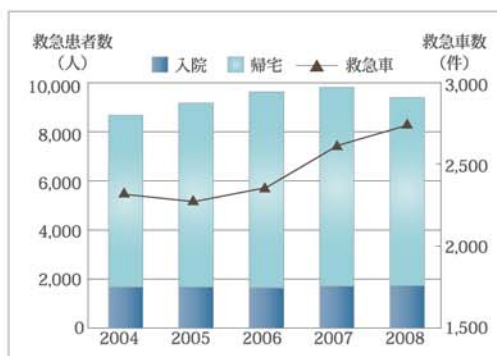
神鋼病院では平成19年9月に救急センターが設立されました。これまで当院では「断らない病院」をスローガンに、神戸市2次救急指定病院として24時間体制で救急車搬送患者をはじめ、近隣病院からの各種救急患者を救急センターで受け入れ、初期の診断や治療に当たって参りました。平成20年度には年間9,198人の救急患者を受け入れ、その内救急車搬送は2,748件に上り、ここ数年増加の傾向があります。また近隣の開業医の先生方からの急病診療のご依頼件数も増加しております。

さて、私は平成21年1月より救急センターに着任し、4月に救急科を発足しました。現在のところ、専属医1名の体制で平日8:30~17:00の時間帯に主として救急隊からの収容要



救急センター正面入口

請のあった患者の診療を担当しています。1時間に5台以上の救急車が搬送されることもあるため、救急隊員や院内スタッフと協力し、速やかに院内トリアージ（患者さんの振り分け）を行うことを心がけております。また、臨床研修医にとっては初期診療を共に行うことで、より実践的なトレーニングの場となっています。



うえはら てつや
上原 徹也

日本外科学会専門医
日本消化器外科学会専門医

EMERGENCY MEDICAL CENTER



救急センター内

一般に救急科では、いわゆる「ER方式」により臨床各科へのトリアージを行います。しかし、私はこれまで外科医として患者さんとじっくり向き合い治療することが大切と考えてきました。当院の救急科では、可能な限りトリアージ後も担当科と関わることで、救急の現場へ情報をフィードバックする「ER+ α 方式」を実践しております。救急診療の質を向上するためには、地域の救急指定病院であることの責任を持ち、この「ER+ α 方式」を継続することこそが最重要と考えます。

■神鋼病院の救急科

救急センターでは、9床の診療用ベッド(内3床は診察用ベッド)と緊急処置室1室が整備されており、診断精度を上げる一方で不要の入院を減らすこと、すなわち患者さんのニーズに応える工夫がなされています。最近では、患者さんの約5割は救急科での診察後に帰宅されており、他科へのトリアージはされておりません。救急科からのトリアージ先は内科系(50%)、脳外科(20%)、整形外科(15%)、循環器科(8%)となっております。

心血管系疾患では「循環器ホットライン(070-6500-7555)」を設け24時間オンコール体制を取っています。また、私はこれまで外科を専門としてきたため、急性虫垂炎、消化管穿孔、腹部外傷などの腹部外科救急疾患については入院治療、緊急手術を担当しております。腹部外科救急疾患につきま

しては、「腹部外科救急ホットライン(070-6500-7553:平日)」をご活用下さいますようお願いいたします。

最後に、救急医療の現場は臨床研修病院である当院にとって、臨床研修医を専属医の下にトレーニングする重要な場であることに、地域的なご理解をお願いいたします。

■腹部緊急手術症例(2009年1~4月)

	全例	鏡視下手術例
上部消化管穿孔	3例	2例
下部消化管穿孔	5例	1例
腹膜炎(虫垂炎含む)	3例	2例
イレウス	3例	0例
合計	14例	5例

■循環器ホットライン

070-6500-7555

■腹部外科救急ホットライン

070-6500-7553:平日

地域医療連携室予約受付について

当院の地域医療連携室では、「地域医療に貢献し、信頼される病院を作ります」という病院理念の下、円滑・効率的な医療の提供を目指して、以下の業務を実施しております。

- ①急性期医療を要する患者の受入れ
- ②紹介から診察・検査・入院までを円滑な調整
- ③紹介元からの医療機器の共同利用

特に診察・検査予約に関しましては、開業医の先生方のご希望に沿えるように、問合せ頂いた際に日時を提示できるように努めております。スピードを持った対応が、開業医の先生方の円滑な診療につながると

同時に、最新の検査機器とベットを有する当院の使命であると考えているからです。今後も開業医の先生方に気軽に利用していただけるよう努めてまいり所存でありますので、何なりとお問合せ下さい。なお、診察・検査予約にあたりまして、診療情報提供書を事前に頂戴しておりますので、あらかじめご用意いただけますようお願い致します。

また、開業医の先生方からの意見がよりよい地域医療連携室の構築につながりますので、ご不明な点・ご要望などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。今後とも、ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。

地域医療連携室：益田 衛明・浅田 圭輔

II 予約受付時間

- 平日：8時30分～19時00分
- 土曜日：8時30分～12時00分

II 予約連絡先

電話FAXにて地域医療連携室にご連絡ください。迅速に対応させていただきます。

□連絡先

Tel. 078-261-6739(直通)

Fax. 078-261-6728(直通)

□夜間・休日連絡先

Tel. 078-261-6711(代表)

※時間外は当直医がお受けさせていただきます。

❖ 神経内科のご紹介

神鋼病院で臨床研修を終了して、横浜労災病院へ移動したのが平成 18 年 4 月のことです。早いものであれから 3 年がたちます。右も左もわからないせに生意気な研修医の面倒を 2 年間もみて頂き、送り出して頂いたことは、懐かしくもあり、いくら感謝してもしきれないほどです。

皆さまのお世話になりながら、神鋼病院での臨床研修を無事終了しましたが、新しい職場で働くことの不安は強かったものです。そんな不安も杞憂で終わり、神鋼病院で日々鍛えられた力をもとに、さらに様々なことを学ぶことが出来ました。年間 7000 台以上の救急車を引き受ける救急部、time is brain の名のもとに始まった rt-PA(血栓溶解薬)による血栓溶解療法を進める神経内科で実り多い 2 年間で過ごしました。

平成 20 年 4 月より神戸大学医学部附属病院神経内科での勤務となり、神戸へ帰ってきました。縁あって今年から神経内科外来(毎週水曜日)をさせて頂くこととなりましたが、久々の神鋼病院で驚いたのは救急センター・内視鏡センター・ICU などの新しい施設が稼働していたことです。常に発展し続ける神鋼病院! 流石です。刺激をもらってこちらも成長できればと思っています。

神経内科という分野は世間での認知度もまだまだ低く、神経疾患が埋もれたままになっていることも多々あるようです。そういったケースを掘り起こし、診断、治療、症状のコントロールが出来ればと考えています。また、脳卒中や神経疾患などの正しい知識が社会で少しでも広がっていくように外来診療を行ってまいります。

未熟な神経内科医ですが、みなさまのお役に立てるようがんばりますので、今後ともよろしく願い申し上げます。



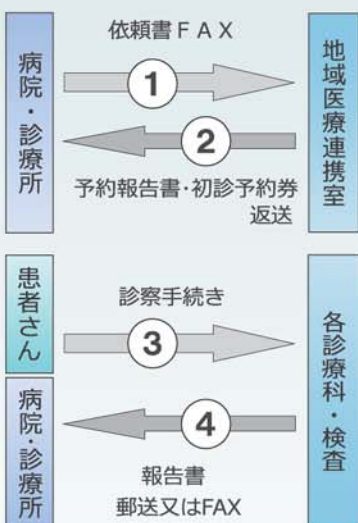
せき つねよし
関 恒慶

Profile

神戸大学医学部 2004 年卒業
神戸大学医学部附属病院勤務

- 診 察 日：月・水・金
- 初診受付：8 時 30 分～ 11 時 30 分
- 再診受付：8 時 00 分～ 15 時 30 分
- 担 当 医：月曜日・白藤 俊彦
水曜日・関 恒慶
金曜日・向井 洋平

検査・外来診療依頼方法



Shinko Hospital Infomation

神鋼病院リウマチ懇話会

日 時：平成 21 年 7 月 11 日(土) 16:00～
会 場：生田神社社会館 3 階「梅の間」
神戸市中央区下山手通 1-2-1 TEL: 078-391-8765

講演 I 「関節リウマチに関連する胸部病変」
神鋼病院 副院長 鈴木 雄二郎

講演 II 「Biologics 時代における MTX と
インフリキシマブの治療戦略と注意すべき合併症」
関西医科大学附属枚方病院 リウマチ膠原病科
科長 尾崎 吉郎 先生

- ◇参加費として 500 円徴収させていただきます。
- ◇講演終了後、意見交換会を予定しております。(飲酒をされる方はマイカーでのご来場はお控えください)
- ◇日本医師会生涯教育講座単位 5 単位
- ◇日本整形外科学会単位 2 単位 (別途、1 単位につき 1,000 円徴収させていただきます)
*講演 I: 専門医資格継続単位 1 単位 (06 リウマチ性疾患・感染症、14 医療倫理・医療安全・医療制度等)
又は、リウマチ医資格継続単位 1 単位
- *講演 II: 専門医資格継続単位 1 単位 (01 整形外科基礎科学、06 リウマチ性疾患・感染症)
又は、リウマチ医資格継続単位 1 単位
- ◇日本リウマチ学会単位 2 単位 (別途、1 単位につき 1,000 円徴収させていただきます)

新神戸ドック健診クリニック

新神戸ドック健診クリニック
施設管理者 奥谷 俊夫

いよいよ今年 10 月に新神戸駅前に人間ドック専門の施設、
「神鋼病院附属 新神戸ドック健診クリニック」がオープンします。

現在は神鋼病院の 1 階にありますが、ここ数年間の受診者のニーズと施設
の老朽化のため移転の計画が浮上し、準備を進めてまいりました。今のとこ
ろ、予定通り進行中です。

「新神戸ドック健診クリニック」は日帰りドックや 1 泊 2 日のドック（ホテル泊）
の健診を今まで以上に顧客満足度の高いものにしていこうと考えていま
す。その特色を以下にまとめました。

検査結果により、地域の諸先生方の専門的見地からのご指導を仰ぐことも
多くなろうかと存じます。関係の諸先生方にはこれまで以上にご理解ご協力
の程、よろしくお願い申し上げます。

新神戸ドック健診クリニックを今後ともよろしくお願い申し上げます。

COMING SOON
2009,10,1



Hospitality (丁寧なおもてなし)

- 女性専用のエリアを設け、動線も男女別としたこと。
- 受診者一人ひとりの診察過程や待ち時間などの状況をリアルタイムで把握する新システムの導入

高性能な 検査機器の導入

- 短時間で質の高い診断を行うためにデジタル超音波診断装置やデジタル X 線画像システムなどを導入。
- 上部消化管の検査として内視鏡検査を標準に設定しました。(経鼻内視鏡も選択できます)

情報管理と “健康づくり”の支援

- 検査結果などの情報はシステムで一元管理とし、生涯にわたる健康づくりの指針として活用します
- 一人ひとりにあった細やかな栄養・保険指導を行います。

【人間ドックご連絡先】

医療法人社団神鋼会 神鋼病院健診センター

□ 受付・ご予約：Tel.078-261-6736 Fax.078-261-6677

□ お問い合わせ：Tel.078-261-6926

□ URL：http://www.shinkohp.or.jp

□ 神戸市中央区熊内町 76

J R 新幹線新神戸駅・神戸市営地下鉄新神戸駅すぐ